

# 一般会計 歳出

**歳出総額**  
416億4,183万円



▲児童館の事業費は民生費



▲ごみの収集の経費は衛生費



▲グリーンバスの運行経費は土木費



▲市民文化祭の開催経費は教育費



▲市役所庁舎の維持管理費は総務費

表2

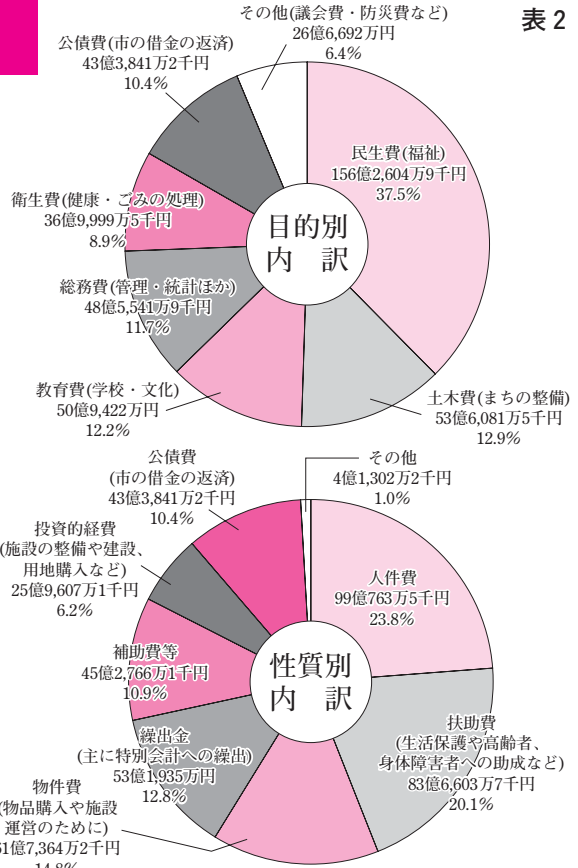


表5 市民1人当たりの予算額

福祉の充実に	108,749円
道路、河川、公園などの整備に	37,308円
教育と文化の振興に	35,453円
市債の返済のために	30,193円
きれいなまちに	18,500円
火災、災害から守るために	13,690円
健康を守るために	7,250円
議会運営に	2,537円
商工、農業のために	1,958円
その他(コミュニティ振興など)	34,167円
市民1人当たりの一般会計予算額	289,805円
市民1人当たりの特別会計予算額	210,611円
市民1人当たりの予算総額	500,416円

平成15年1月1日の人口 143,689人

表3 各会計別予算額

会計名	15年度予算	14年度予算	伸び率(%)
一般会計	416億4,183万円	423億4,393万9千円	△1.7
特別会計			
国民健康保険事業	104億1,700万円	102億8,600万円	1.3
老人保健医療	90億655万円	108億4,303万4千円	△16.9
介護保険事業	52億7,218万2千円	48億1,680万2千円	9.5
下水道事業	44億9,598万9千円	46億676万6千円	△2.4
受託下水道事業	10億7,083万1千円	11億8,738万6千円	△9.8
合計	719億438万2千円	740億8,392万7千円	△2.9

表4 特定目的基金(決められた目的のための市の貯金)

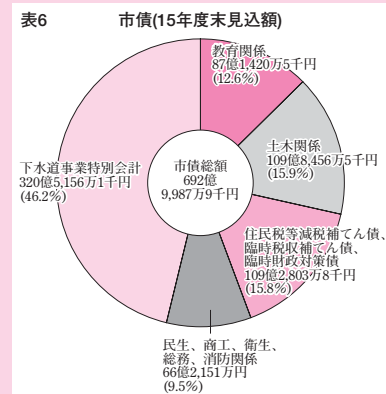
基金名	14年度末保有見込額	目的
財政調整基金	10億3,106万7千円	安定的な財政運営のために
減債基金	1,815万円	市債(市の借金)を減らすための積立
公共施設整備基金	6億3,304万6千円	新たな公共施設を整備するため
職員退職手当基金	14億6,040万1千円	退職者の多い年度の退職手当の財源として
西武園競輪場周辺対策基金	5,550万6千円	周辺対策の施設の建設や運営資金に充てるため
緑地保全基金	5億8,279万1千円	計画的に用地を買収し、緑地の保全を図るため
ふるさと創生基金	1億7,608万9千円	ふるさと歴史館のアクセスを含めた史跡ルート事業などに
長寿社会対策基金	9億5,932万4千円	高齢社会に対応した計画事業の財源として
国際交流及び姉妹都市交流基金	2億1,568万7千円	国際交流及び姉妹都市との交流の推進のために
アメニティ基金	2億4,095万1千円	資源循環型まちづくりのために資源物・指定廃棄物採取等を積立
秋水園周辺対策施設整備基金	5万9千円	周辺対策の施設の建設や運営資金に充てるため
計	53億7,307万1千円	

**市債(市の借金)について**

大規模な公共施設の建設など特定の事については、資金調達という目的とともに、現在から後代までの利用者に負担を均等化するために市債(借金)の制度が認められています。

ただし、市債での借り入れ時には、その年度の公債費(返済)が一般財源(このように経費にも使える財源)に占める割合を計算した公債費比率を目安としています。

(下図は市債総額について)



直化を招かないためには、10%を超えないことが望ましいとされています。平成13年度決算では10.1%でした。

※特別債(減税や地方交付税の計算方法の変更など、国の政策による特例で認められる借金)